

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は、葬儀や墓じまい、仏壇の処分等がよく動いている。
		観光型ホテル（支配人）	単価の動き	・客単価がやや良くなっている。レストランや売店の売上も好調である。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今月は勤労感謝の日が金曜日だったため3連休となり、繁忙日、満室の日が1日増え、その分の売上増が大きい。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・前年同月に比べ、宿泊予約が顕著に推移している。また、客の問合せで「なかなか市内のホテルが取れない」との声を多く聞いている。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・天災による影響が少し緩和され、国内旅行は例年並みとなってきている。海外旅行は堅調な伸びで、受注も増加している。また、カウンター来店客も増加傾向にあり、個人客に動きが出てきている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・天候は安定してきているが、来客数は前年と変わらない。美容施術を増やさないと、客単価の上昇は見込めない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・毎年この時期は、冬物商材を扱わないため、売る物はなく、客もスポーツはちょっと一休みというところである。特別、今年が悪いわけではなく、例年同様である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・久しぶりに穏やかな天候が続き、紅葉目当ての客を多く見かけている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・寒さが緩いためか、暖房器具や季節商材の動きは良くない。4Kテレビ放送も話題になってきてはいるものの、興味がある程度の人だけで、すぐには販売に結び付かない。相変わらず、消費者の購買意欲はみえてこない。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・今月は大きな動員施策があったため、何とか前年実績に到達している。この施策で本来なら大きくプラスとなるはずだったが、前年ととんとんである。基本的に客が増えているわけではなく、顧客で売上を作っているため、このままでは頭打ちなのは明白である。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・大阪万博が決まって大阪の景気は良くなるらしい。経済効果2兆円だと聞く。長野市も1998年の長野オリンピックで大きな経済効果があった。新幹線が開通し、大きな箱物施設ができた。維持費に費用が掛かるという人がいるが、イベント等の開催で、収入を増やしている。当店も長野オリンピック前から現在までその恩恵をかなり受けている。来年3月には店の前面道路が開通する。計画から10年と長かったが、来客数が30%は増えるかと期待している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年に比べて、来客数が1割減の状態が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型イベントのないなかで、1年後に控えた消費税増税前の駆け込み需要を感じるようになってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は目標を若干上回っている。さらに、冬支度のスタッドレスタイヤ購入客が増えた分、プラスに反映している。車両販売は、前年とほぼ同じである。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・市長選挙が終わり、回復に転じるかと思われたが、大きな動きはなく選挙前とさほど変わらず推移している。単価は少し上向いているが、圧倒的に来客数が確保できない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・10月末に市長選挙が終わり、11月になって動きがあるかとみていたが、まだそれほど目立った動きはない。ホテル全体の売上は、前年とほぼ変わらず、前月とも変わらない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・12月に近づき、やや良くなっている。今までの数か月は前年比95%ぐらいだったが、今は97%ぐらいになりそうである。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・保留、解約は減少しつつあるものの、新規加入の動きも非常に鈍い。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・料金変更やタイアップ企画及び期間限定イベント等の集客施策を実施し、来客数の動きは引き続き好調である。	

	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・人材不足が続き、シニアアルバイトを短期採用している。また、シニアgolferへ健康維持の観点からゴルフの魅力をキャンペーン中である。
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼数は多く、完成時期も重なっているため忙しい。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・問合せはあるものの、成約には至らない。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候が暖かいのに来客数減で、鍋物素材などが売れない。野菜の価格相場も安い。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・青果物の単価が下がってきており、売上に直結して厳しい状況である。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・11月は元々売り売上の良くない月なので、年末商戦に向けて準備の月である。天候はある程度安定していたので、底堅い動きではあったが、夏に比べると落ちている。来月は年末で、活気が出てくるとみている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・生活用品や食品を購入できる場所が増えているため、来客数が割れ込んでいる。自店で努力するだけではどうしようもない。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・3か月前は残暑で、売上もそれに依りて若干良くなる傾向だったが、今は陽気が中途半端で、寒かったり暑かったりと、売れる商材が絞れず、なかなか難しい。
	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・暖冬傾向で冬季商材の販売が、前年の7割程度となっている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・好天による県外客の動きに期待していたが、期待外れである。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・フリーの客が減っている。宴会の数にそれほど変化はないものの、忘年会の動きは余り良くない。
	× 商店街（代表者）	来客数の動き	・先日テレビ番組で地方の商店街が映っていたが、人影は全くなく、何とも寂しい状態であった。当方も全く同じで、来店客から「この街どうなっているの」と言われるのが切ない。
	× 衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・仕入価格や外注費の上昇等、何もプラス要素がない上に、客のニーズも今一つである。
	× スナック（経営者）	競争相手の様子	・ともかく景気が良くない。地方の飲食店で、競争相手の様子を選択したが、客の様子、来客数の動き、それぞれ全部当てはまる。狭い地域に店が多過ぎるので心配である。
企業動向関連 (甲信越)	-	-	-
	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・新酒の販売が順調に推移しているのに加え、東南アジア、ヨーロッパへの輸出が、徐々に増加し始めている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量も増え、やや忙しい。周りの企業も安定した状況である。
	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売展示会は相変わらず集客難で、今月2回開催した展示会の来場客はいずれも10%減だが、高額商材の購入客があり、売上は前年をクリアして更に20%増となっている。卸売のルートセールスは、依然として厳しいものの、12月はギフト用ジュエリーや自分への御褒美として購入する客も増えることから、売上増を期待している。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・個人的な実感は薄いですが、年末に向けて消費に期待している企業は多い。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・月半ばを過ぎて、相変わらず販売量が思わしくなく、最繁忙期に突入しても、この状態が続いている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量はやや増加しているものの、状況に余り変化はなく推移している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・取引先に様子を聞いても、下降気味の会社が多い。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は余り変わっていないが、人手不足が続いており、取引先に工期延長をお願いしている状況である。
	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年に比べて暖かい天候が続き、量販店では「寝具類等の売れる時季がずれてきている」と話している。今月のチラシ出荷量は95.6%となっている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業は高水準な受注を確保する企業が多いものの、一部で弱い動きも見え始めている。

	x	食料品製造業 (製造担当)	競争相手の様子	・業界全般で、生産量が過去最低ラインまで落ち込んでいる。スーパーへ依存する型では、もはや売上の向上が見込めなくなっている。
雇用 関連  (甲信越)		-	-	-
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人倍率に大きな変動はないが、新規求人数が大幅に増加している。年末年始の短期アルバイト求人が大量に申し込まれた影響もあるが、前月比23.7%増、前年同月比で15.0%増となっている。
		人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・スーパーマーケットで買物の様子を見ていると、割引デーにふだん来ない客の姿が目立つ。やはり年末を控えて財布のひもは固いのか、あるいはボーナス支給の関係なのか、びっくりするほど店内は騒がしい。貧富の格差が広がりつつあるようである。
		求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・人手不足感は依然として強い。そうしたなかで従業員確保のため、パートやアルバイトの時給を大幅に上げて求人広告を出してみるものの、飲食業などでは全く反応がない店も多く見受けられる。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人は、製造業で設備投資が進み産業用機械部品の需要増から小口求人が増加している。また、飲食サービス、医療福祉で増加し、全体では前年比6.4%増となっている。長期化する原材料の高騰が、幅広い業種に影響を及ぼしているため、採算面の悪化も懸念される。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規求職者のなかで在職者の割合が多く、当所管内の経済状況は、中小企業の利益に反映されておらず、やや良い状態が継続中である。
		民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・比較的安定的な受注状況とは裏腹に、求人減の企業が目立ち始めている。原因は米国大統領の政策による影響で、今後の警戒感が強まり、比較的低賃金のために応募者が少ないが、背景には現状維持で賄おうとする経営陣の考え方がある。大手企業のコストダウン対策が厳しすぎ、下請企業に適正利潤が回らない。
		-	-	-
	x	-	-	-